

一、村落構造解体の推進力として農業の企業的発展をめざす自立経営を高く評価したいと私は思う。

二、村落構造解体の阻止力として、過去の農業技術下での米作への執着が大きな意味をもつかと思う。米価闘争は、その米作執着をより強固にするものとはならないか。

三、村落構造解体の一表現として、農民層内部での各種利害対立があり、その対立の中に農民的土地所有の矛盾が強く現れていると思う。島崎氏の言う様な農民運動の方向は、農民的土地所有を維持する結果となり、そうするならば逆に考えていって村落構造解体を阻止する力として作用するのではないかと考えられるがどうか。